



2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ

イマジン ロータリー  
IMAGINE ROTARY



写真撮影 古山義洋会員

Rotary  倉敷南ロータリークラブ  
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961  
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 2894 例会 R. Song 「我等の生業」 天候：晴れ No.2894/2022. 7. 15

Guest 中野貴司先生（川崎医科大学 小児科学）※ビデオ講演 Visitor なし

出席 会員数 59名（うち出席規定免除者 15名②名①3名）

7/15の出席率 72.00%（出席者 36名、内①6名）

欠席 古山、井上、石本、神野、唐川、中川、沼本、小田、白神、和田（一）、渡辺（英）、  
渡辺（誠）、横田、吉住、各会員（14名）

#### ●佐藤会長

・本日の講師はテレビ等でも非常に有名な川崎医科大学の中野貴司先生です。本日は急用によりお越しいただけなくなり、ビデオによりご講演いただきます。

【新入会員のご紹介】JFE ライフ(株)倉敷営業所長 山本勲様(再入会):(ご挨拶) 福山営業所長を2年間勤め戻って参りました。コロナ禍ではありますが新しいメンバーでロータリー活動できる事を楽しみにしています。

【持ち回り理事役員会報告】7/13、14に開催し、新入会員候補2名の賛否につき会員各位に発信しました。旭化成(株)製造統括本部 水島製造所 執行役員 水島製造所長 櫻井 和光様、関東電化工業(株)水島工場 取締役執行役員水島工場長 兼 新製品開発本部長 滝川 剛 様です。

・熱中症が増えています。対策として熱に暴露する時間を少しずつ長くすること(温順応)が重要で、例えば早朝の運動、シャワーが有効です。汗をかくことで体内のミネラルが減少しますのでそれを補充することが大切。深酒すると翌朝、起床した時点で脱水状態となっており危険ですので注意してください。

●幹事報告(石田幹事):7月のロータリーレートは、136円/ドルです。

・7/1の理事役員会報告:①会員増強活動の状況報告、②クラブ会報作成業務の簡略化について検討を進めることの報告、③10/2開催の地区大会に全員登録、④市立水島図書館に図書寄贈を継続、⑤8/12の例会前にクラブ協議会開催

●スマイル報告(原 S.A.A.)

- ・白神会員、山本(由)会員、井上会員：山本さんの再入会を歓迎します。
- ・佐藤会長、流田副会長、渡辺(清)副会長、石田幹事：①山本勲さんの再入会を歓迎します。②中野先生の卓話を楽しみにしております。
- ・柳沢会員：来週都市対抗野球が始まり、JFE スチールは 7/20 に 1 回戦となります。当 RC の方も応援に来ていただけるとのこと、応援宜しく願います。
- ・神野会員：妻の誕生日に綺麗なお花をいただき誠にありがとうございました。
- 流田副会長・新任挨拶：入会 3 年目にして大役を仰せつかりました。日々、即断即決を求められ悩み・迷いも多い中、ロータリーの『四つのテスト』が自分を変えてくれました。結果はどうあれ自信をもって決断できるようになりました。しっかりと役割貢献して参りますが、特に最重点目標である会員増強に特に注力する所存です。特に若手、女性会員の増強に向け役割貢献していきますので、皆さまの絶大なるご協力をお願い申し上げます。
- プログラム卓話：「新型コロナとワクチン 最近の話題」中野貴司先生
- ・企業人にとって、コロナ禍における事業継続は重要課題であり、感染症と共存していかなければならないが、コロナがインフルエンザ並みになるには時間がかかり数々の制約を受けることになる。
- ・コロナ感染した場合：発症 2 日前から発症後 10 日間他人に感染させてしまう。
- ・PCR 陽性の場合いつから何日間の療養が必要か：→症状あり：発症から 10 日以上、かつ症状軽快して 72 時間 →症状なし：検体採取日から 10 日間
- ・濃厚接触者の定義：①陽性者と発症 2 日前以降接触、②陽性者の検査陽性 2 日前以降接触、③同居家族、④マスクなし、1m 以内で 5 分以上接触
- ・発端者が入院していればよいが、そうでない場合、他人との接触により感染が拡大することとなり、BCP の観点から非常に厄介なことになりかねない。
- ・ワクチンの有効性：感染予防、発症予防、重症化予防、入院予防、死亡予防
- ・世界では 2021 年末から、日本では今年の初めから新規感染がオミクロン株一色になった。非常に感染力が強く、2 回目接種直後でもこれまでの株より感染予防効果が低く、効果の低下スピードも速いことから、3 回目の追加接種を 2 回目接種から 5 か月以上経過後に行うことにしたもの。
- ・最近 4 回目の追加接種が始まったが重症化を抑えることを目的としたもの。従って 60 歳以上、18 歳以上で基礎疾患のある方など、対象者を限定している。
- ・組み換えタンパクワクチンについて：不活化ワクチンに分類され、免疫の活性化を促進するためのアジュバントを添加したもので B 型肝炎ワクチンでも実績がある。18 歳以上を対象に 1 回目～3 回目接種、交差接種も可能であり、新型コロナに対抗する新たな選択肢として活用が期待される。

例会プログラム予定：2022 年 7 月 22 日(金)卓話 イニシエーションスピーチ 大谷康晴会員  
2022 年 7 月 29 日(金)ゲスト卓話 中川浩一様 (倉敷芸術科学大学 メディア映像学科教授)